

科目名	地理			担当教員	細谷 守		
学年	全学科 1年	学期	通年	履修条件	必修	単位数	2
分野	一般	授業形式	講義	科目番号	09G01 20050	単位区別	履修単位
学習目標	1. 地図・ノート・統計表等を利用して、現代社会の諸事象の展開を理解する。 2. 現代世界を教科書・書籍・マスメディアを通して関心を持って直視できる姿勢をつける。 3. 地球的課題が存在し、その解決のためには国際協力が必要であることを理解する。						
進め方	各学習項目ごとに、教科書・地図帳・ノート他を利用し、キーワードの確認・理解・延長へと学習内容を進めていく。また、授業には参加型学習の形態を取り入れ、興味関心を強めるよう導く。そして、現代社会の問題点が地域から全体へ、過去から現代に通じるものであるという共時的、通時的考えを身につけさせることにより、我々の行動に責任が要求されていることを自覚させる。						
履修要件							
	学習項目（時間数）			学習到達目標			
学習内容	1. 球面上の世界と地域構造（2）			地球の特質を理解する。			
	2. 世界地図の種類と特徴（2）			地図を利用し、世界の中での日本の位置の把握と、領域等の現状を理解する。 A3:1			
	3. 時差の求め方（2）			日本の領域と国境問題を理解する。			
	4. 国家と地域区分（2）			商業地理の現状を理解する。 A3:4			
	5. 消費行動の変化と地域差（2）			近隣地域の生活・文化の実態を理解し、共生の考えを身につける。 A1:3			
	6. 中国の生活・文化（2）						
	7. 東南アジアの生活・文化（2）						
	8. 前期中間試験（1）						
	9. 試験問題の解答、世界を結ぶ交通（2）			人・物・情報の移動に伴う世界の結びつきを学ぶ。 A1:1,A3:1,2			
	10. 世界を一つに結ぶ通信（2）						
	11. 国際化する人々の移動（2）						
	12. 拡大する世界の貿易（2）						
	13. さまざまな余暇活動（2）						
	14. インドの生活・文化（2）			IT 先進地域産油大国としての背景と両地域の問題点を理解する。 A3:2			
	15. 西アジアの生活・文化（2）						
	16. 前期末試験（1）						
	17. 試験問題の解答と授業評価アンケート						
	18. 世界の人口問題（2）			現在の人口問題の解決策を考える。 A3:1			
	19. 世界の食料問題（2）			輸入食料に頼る問題点を考える。 A3:1			
	20. 世界の都市・居住問題（2）			都市再開発のあり方を考える。 A3:4			
	21. 世界の資源・エネルギー問題（2）			資源問題の現状を理解する。 A3:1			
	22. アフリカの生活・文化（2）			開発途上国のあり方を通じて、異文化の特性を理解する。 A3:4			
	23. ラテンアメリカの生活・文化（2）						
	24. 後期中間試験（1）						
	25. 試験問題の解答、世界の環境問題（2）			環境問題に関心を深め、資源の有限性を学び、協力と共生による維持の大切さを把握する。 A1:2			
	26. 近隣諸国の大気汚染への取り組み（2）						
	27. 近隣諸国の森林破壊への取り組み（2）						
	28. ヨーロッパの生活・文化（2）			さまざまな地域の特性を理解することで、相互理解の大切さと各地域の幸福を願う姿勢を身につける。 A1:3,4			
	29. ロシアの生活・文化（2）						
	30. アメリカ合衆国の生活・文化（2）						
	31. 韓国の生活・文化（2）						
	32. 学年末試験（1）						
	33. 答案返却・解答（1）						
評価方法	定期試験70%、作業ノート・課題レポートの提出等30%の比率で総合評価する。						
関連科目	倫理・社会、歴史、政治・経済						
教材	教科書：高橋 彰 他 著「高等学校 新地理A 初訂版」 教科書：山本正三 他 著「基本地図帳 改定版」 傍用問題集：帝国書院編集部 著「高等学校 新地理Aノート 初訂版」						
備考	特になし。						